

令和3年9月9日

保護者の皆様

仙台市立旭丘小学校
校長 松田 修一

体育の授業時のマスク着用について

日頃より本校の教育活動に御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、コロナウイルス感染防止対策の学校における取組の一つとして、夏休み明けから、体育の授業時、マスクを着用して授業を行うこととしておりました。緊急事態宣言が出されたこともあり、より感染のリスクを下げるため職員と話し合い、『体育は、内容や運動量、運動時間等を考慮しながら、マスクを着用して授業を行うようにする。』ということを共通理解し、そのような取組を実施することにいたしました。しかし、夏休み明けの体育時の子供たちの様子を観察したところ、活動内容を工夫しても、子供たちは息苦しさの中、運動を行う場面が出てくることがあることや軽度の運動をさせていても、活動に夢中になり、どうしても運動量が増えてしまう場面が出てくるなど、課題が出てまいりました。子供たちの健康、安全を第一にと考えていたところではありましたが、体育時のマスク着用は、逆に子供たちの健康、安全に負の影響を与えるのではないかと考えるに至りました。併せて、マスクを着けての体育実施について、御心配の御意見も頂戴いたしました。

以上の点等から、今後の体育の授業の在り方について、改めて職員と共通理解を図りましたので、お知らせいたします。

- ・ 体育時はマスクを外して活動すること
- ・ 児童がマスクの着用を希望する場合は、マスクの着用を認め、その際、より活動内容及び、児童の様子に配慮して授業を行うこと
- ・ 感染リスクを避けるために、児童同士の間隔を十分に確保して活動を行うこと

昨日、宮城県の緊急事態宣言は解かれ、蔓延防止等重点措置に切り替わるとの報道がありました。感染者数が減少傾向にあることは、喜ばしいことですが、まだまだ予断の許さない状況が続きます。学校といたしましては、感染防止に努めながら、いかに教育活動を充実させていくか、今後も、教職員一丸となって最善の方法を考えていきたいと存じます。引き続き、皆様の御理解、御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。